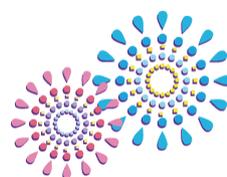
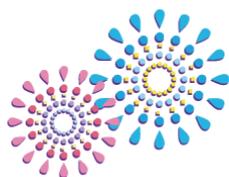


ナカログ

Summer
2011
Vol. 31



2
・
3
P

講座・イベントリポート

NPO・市民活動交流会もなかフェ“売り込みの極意”
親子サークル・グループリーダー研修

4
・
5
P

が ら が ら

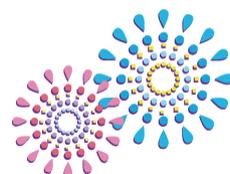
学・楽・学・楽ぽんっ！活動の達人にインタビュー

野田 眞利さん 象の鼻パークの清掃ボランティアなどで活動

6
・
7
P

なか区民活動センター登録団体のご紹介

「使える日本語」を正しい形で教える「日本語の庭」
英語の学習サークル「カクタス」
市民放送局「CHANNEL CREAM」
なかく街の先生の紹介



是非・ご利用ください。

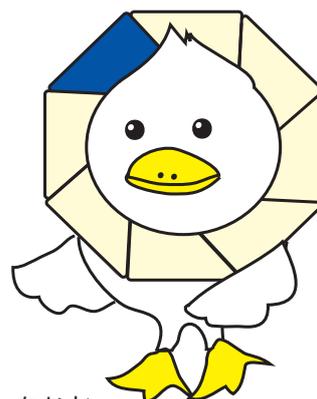
腹がへっちゃ...“会議・打合せは出来ぬ”...?



なか区民活動センターでは
ミーティングエリアや研修室への
飲食物のお持込みはOKです♪

NPO・活動団体さんのミーティングや
交流会などにおススメです♪

～ゴミは必ず、お持帰り頂いております～



もなか
なか区民活動センターのマスコット

NPO・市民活動交流会もなカフェ 2011

「～“売り込みの極意” あの、アロハシャツが活動現場を元気にする!!～」

開催日 6月25日(土) 13:30～16:45

場 所 なか区民活動センター ミーティングエリア



ゲストスピーカー 時任和子さん



ファシリテーターの小野"Perry" 行雄さん



グループワーク・ワールドカフェ

■開催概要

NPO・市民活動団体が、「人を集める」「資金を募る」「コーディネートする」など活動を充実させるために欠かせない広報・PR すなわち“売り込み”をテーマにNPO・市民活動交流会 もなカフェを開催いたしました。

前半のシンポジウムではゲストスピーカー、時任和子さん（NPO 法人 夢・コミュニティ・ネットワーク代表）がトレードマークのアロハシャツを身にまとい参加者に、「なぜ、活動をPRしたいのですか?」「誰に伝えたいのですか?」「どんな手法で、どう伝えたらよいと思いますか?」「そのPRはいつまでに必要なのですか?」といった問いかけからシンポジウムは始まりました。

エレベーターに乗り合わせた人に、目的階に着くまでの約30秒で、自身の活動を紹介する「エレベーター・スピーチ」の実践では、参加者全員が日ごろの活動を紹介し合いました。

長い団体名に略称を使うなどして短い時間で効果的にPRする方法や、団体内部のコミュニケーションを円滑にし、活動を元気にする方法についてリズム良く親しみやすい語り口調でお話しいただきました。

後半はファシリテーターに小野"Perry" 行雄さん（NPO 法人草の根援助運動）を迎え、「売り込み」について参加者同士が、実践につながるアイデアを出し合いました。

■グループワーク・ワールドカフェ

グループワーク・ワールドカフェの展開ではワールドカフェを一部アレンジし、「売り込み」について話し合いを行いました。

参加者はテーマA・Bに分かれテーマA「具体的な売り込み作戦」では当日の販売ブースを題材に販売ブースのボランティアスタッフから売り込み中の商品や作業所の取組みについてヒアリングを行い、売り込みの企画立案からプレゼンテーションを一つのグループで展開しました。

テーマB「架空の突飛な売り込みを考える」では「売り込み」の悪い事例を考え（セッション1）られた事例に対しての改良案出しをして（セッション2）、その改良案を基に売り込みが見込めるプレゼン企画のアイデアを発表する（セッション3）三部構成で行いました。

セッション1からセッション2に展開する際には他のグループと「売り込み」の悪い事例を書き込んだシートを交換し、他のグループが考えた「売り込み」の悪い事例に対して改良案出し、セッション3ではグループとして改良案からプレゼン企画を考え発表しました。

今回のブレインストーミングはスタンフォード大学の起業家育成プログラム、新しいアイデアを打ち出す講義を参考に組み立てられました。

参加者からは広報・PRという対外的な“売り込み”だけではなく団体内部の円滑なコミュニケーションや魅力あるリーダー像などについても関心が寄せられました。（報告 内多）

親子サークル・グループリーダー研修

リーダーみんなで考えよう

協力：NLChio

開催日時：2011年5月17日（火）10:00～11:45

会場：中区役所6階 会議室

親子サークルは、中区で活動している未就園児をもつ保護者のグループです。そのグループの新リーダーを対象に活動の意義や実際の活動に必要な実技等を学習してもらい、活動への意欲を喚起し、地域活動の担い手として育成するために研修を行いました。

参加者は、中区で活躍している親子サークル・グループのリーダーと子育て支援をしている団体のNLChio、のんびりんこ、中区こども家庭支援課、なか区民活動センターの職員でした。



前半は、NLChio、のんびりんこ、こども家庭支援課、なか区民活動センターの子育て支援に関する役割・支援についての説明がありました。



後半は、2グループに分かれて、NLChioのメンバーがファシリテーターとなり、グループワークを通していろいろな情報交換を行いました。

グループワークでは、サークル内での悩みや運営について意見が交わされただけでなく、子育ての難しさ、悩み等を語り合うことで、サークル間の交流が芽生えました。グループワークは楽しく和気あいあいとした雰囲気でした。



おかあさんの研修中、子どもたちは、隣のお部屋で、かざぐるまの会の保育ボランティアの方々と仲良く、遊んでいました。
(報告 佐藤)



「なかく活動ガイド 2011」 ついに完成

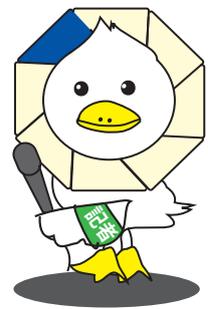
お待たせしました。前号でお知らせしました「なかく活動ガイド 2011」が、完成しました。

いろいろな分野の活動団体の情報が満載です。

なか区民活動センター、中区内の地区センター、コミュニティハウス等でご覧になることができます。



活動のスタートは
キッカケを大事に！
継続は 喜びを大切に！



今回は、横浜開港の舞台となった象の鼻パークの清掃ボランティア活動など行っていらっしゃる野田眞利さん（のだ・まさとし、Y150 たまくす会 代表）にお話を伺いました。

野田さんは、左から二人目の方です。

Q: ご自身の活動内容について、お聞かせください。

A: 私個人の活動として「Y150 たまくす会」の代表を務めさせていただいております。また、インターネットテレビでの横浜市の情報や、市民活動の紹介などのお手伝いもしております。

「Y150 たまくす会」の活動としては月1回「みなとみどりサポーター」として象の鼻パークの清掃活動を行っており、毎月の定例活動として定着しております。昨年発足した団体なので、会としての実績という部分ではまだまだですが、施設のバザーの手伝い（ごみの分別処理）や、開港祭や湘南国際マラソンなどのイベントに参加するなど、可能な限り他団体やビッグイベントのサポートをし、少しずつですが活動の幅を広げております。現在では東日本大震災で被災された人々を少し支援するための募金活動も計画中です。

Q: 活動を始めたキッカケは何だったのでしょうか？

A: 開国博 Y150 のボランティアに思い切って

参加したことでした。ボランティア活動自体は初めてなうえ、ビッグイベントであるがゆえに自分に務まるかどうかものがすごく不安でした。代表を決める際、本当はどなたかほかの人に手を挙げていただき、その人の企画に乗った方が私自身も楽（他の人がそうであるように）・・・といえは楽だったのですが（苦笑）

どなたも手をあげそうにないし、私が立ち上げるしかないと思って、あまり後先も考えず思い切って手をあげました。いささか若気の至りだったようにも今にしてみれ思えますが・・・（苦笑）

Q: 活動してみてどうでした？

A: 当初は同窓会みたいな親睦会のようなムードでした。活動を継続するうちに、予想以上に有意義な活動ができ、非常に良い人間関係ができました。「何とか少しでもボランティアメンバーの人間関係を維持できるようなグループを作りたい。」「Y150 で活動を共にした仲間たちでいつでも集まれるようなエリアを作りたい。」と思うようになりました。ちょうど、港湾局さんから「みなとみどりサポーター」

ター」の依頼もいただいたことで「必要とされることは大変結構なこと」と思い、ボランティア団体として、本格的にスタートさせる決心をしました。

Q: グループ活動を盛り上げるうえで、工夫していることや、気をつけていることは？

A: 私が団体のトップである、ということあまり意識しないで、基本的には会員から提案があったらそれを大事にする、私自身はそういうスタンスでここまで来ております。

ただ、これまで以上に理事の方々を第一に活動を組み立てることを意識するようになりました。やはり運営の軸というものが定まっていないと会の方向性もあっちへ行ったりこっちへ行ったりと一定のバランスが取れなくなります。昨年失敗したのはそのあたりがあまりいまいでしたから。今年は理事会をこれまで以上に重用し、代表－理事－一般会員のピラミッド型を大事にして進めていきたいと思っております。

Q: 活動をする上で、苦労されたことは？

A: Y150 たまくす会は基本ベイサイドエリア出身者で構成されておりますが、ベイサイド出身の方は昼間働いているなどで基本的に時間の取れない人がほとんどなためイベントを企画してもなかなか人が集まらないことがあって、そこが泣き所でした。

また、これはどこのボランティア団体でも大なり小なりあると聞いてはいますが、団体の正式発足直後は理事をはじめメンバーが団体に強い思い入れを持って接してくださる

のありがたい一方で、その反面その思い入れの強さが故か、団体がなかなか一つにならなかったものですからその部分は本当につらかったです。

Q: 活動の喜びは、どんな時に感じますか？

A: これはもう、やはり会員の喜んだ顔が見られた時です。

先日も清掃活動の後簡単な懇親会を思い切って企画したのですが、おおむねいいムードで評判もよかったです。われわれが企画したのについて会員が満足してくれること。やはりこれが一番の成果でしょう。そのときこそが「やってよかった」と思える瞬間であります。

Q: 今後やってみたいことは？

A: まだ具現化してませんが、もう少し様子を見てから判断しようかなと思いますができれば他団体とのコラボレーション活動がいい形でできればな・・・と思います。

それと、個人としてはスケジュールが結構いっぱいになっているので現状維持で行きたいところですが・・・(苦笑) それでも何か、サポートが必要そうな人や状況があればできる範囲で力になりたいと思います。

(インタビュー 鳥海)



日本語の庭

登録 No. なか -111C 代表/阿部 早苗

「使える日本語」を正しい形で教える。

ワンランク上の語学力を目指す学習支援

日本語の学習者は「会話」を主として学びたい人、「日本語能力試験」を目指す人、「子どもの通う学校のプリントなどを読むこと」を必要とする人、学習目的は多様です。

学習者の中には、会話をする場面では支障なく意志の疎通ができるにも関わらず、「赤いの本」、「行きますです」などの誤用がよく見られます。特に、長期滞在の外国人は、「会話」だけではなく、日本語の正しい「読み書き」を習得することで、より良い社会生活を過ごすことができると思います。そこで、「日本語の庭」では能力試験を目指す学習方法で「聞く・話す・読む・書く」をバランスよく学習することが大切と考え、総合的に日本語のコミュニケーション能力を測る「日本語能力検定」に着目しました。

私達は、「日本語能力試験」の受験を目指している外国人学習者の支援を目的とし、新しい「日本語能力試験」が目指している「使える日本語 = Can-Do」を習得させる事を目標としています。

「文型の意味・動詞の変化・助詞の使い方」などの知識を持って、教える技術を磨き、来年度から支援できるように、現在、準備をしています。興味のある方はご一報ください。



カクタス

登録No. なか -108C 代表/山本 美智子
TEL 045-844-7971

自己啓発を目指して！！

言葉を学ぶことは、その国の文化を知ることに通じます。

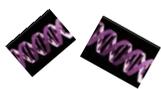
横浜市主催の英語クラスで学んだ仲間4～6名（50～70歳代）が、かつての教師を慕って集まりました。

世界語となった英語を通して、他国の人とお話ができることを目的として英会話を勉強しています。

進め方は、週ごとに「話す力」「聞き取る力」「読む力」と重点を置き、英語の語彙、表現、やり取りのコツや面白さを楽しみながら「楽習」しています。

合言葉は「継続は力なり」これからもずっと続けたいと思ってます。





CHANNEL CREAM

登録 No. なか - 074B 共同代表 / 相澤美紀子・草野美加

E-mail アドレス / channelcream@gmail.com web サイト URL: <http://c-tv.jp/tv/cc>

誰もが参加できる市民放送局

私たちはインターネット放送を使って、市民の視点から横浜の情報発信を行っています。月1回の定期番組では、身近にある横浜の情報、横浜で活躍するアーティスト、市民活動団体の紹介などを取り上げています。その他に、各地のイベントの記録や、子どもたちに映像づくりを教える取り組みを行っています。また、今年に入って芝居塾のドキュメンタリー撮影や、音楽に特化した番組放送を開始するなど、活動の幅を広げています。

私たちのウリは、一般市民の誰もが気軽に参加できる市民放送局であることです。

まだまだ発展途上中ですが、他団体と連携しながら、市民目線で横浜の地域資源を発信していきたいと思えます。



最近登録した「なかく街の先生」のご紹介！

御自身経験を生かして地域で教える方々で登録するシステムです。

登録をご希望の方、ご利用を希望の方は、なか区活動センターへお問い合わせください。

活動分野	音楽・合奏	中国語・子ども英語
名前	さいとう 友快 齋藤 友快	ちよう か 張 珂
指導内容	家にある楽器（リコーダー、ピアノ、ハーモニカ、フルート、太鼓、ギターなど）で簡単に合奏して音楽を楽しむ。楽器がなくても歌、コーラス、リズムセクション、手作り楽器などで参加できます。初心者も経験者もとにかく音楽を楽しみましょう。	中国語（基礎から上級まで）指導いたします。題材は観光名所から現代社会新聞、雑誌、歌謡曲、料理まで様々な事を楽しみながら勉強しましょう。母語教育としての中国語指導、子どもの英語指導もいたします。
先生からの一言。	参加者の人数、楽器、能力に応じて、編曲し、合奏を試みます。楽しむ、やってみる、コミュニケーションが目的です。	外国、外国語、外国の歴史と文化が好きでこれまで英語、ドイツ語、日本語を勉強してきました。自分の経験を生かして、皆さんに外国語を勉強する楽しさを伝えたいです。

センターからのお知らせ

レターケース、縦型ロッカー 空きがあります

貸出用ロッカー・レターケースは、現在、若干空きがあります。御希望の方は、なか区民活動センター窓口にてお申し込みください。なお、受付は、先着順ですのでご了承ください。

また、すでにロッカーまたはレターケースをご利用の方は、新規のお申し込みはできません。

いずれも有効期間は、平成24年3月末日までです。



なか区民活動センター登録団体の皆様へ 団体登録証の携帯をお願いします



なか区民活動センター窓口で研修室の予約をされる際やロッカーの鍵をご利用になる際に、こちらから団体登録証の提示を求められることがあります。団体登録証は各団体1枚ずつしかありませんので、予約作業をされる方は登録証の表・裏面をコピーしていただき、登録証もしくはコピーを手に、窓口にお越しくださいますようお願いいたします。

なか区民活動センター 施設利用のご案内

中区民や横浜市民の自主的な活動（市民活動・生涯学習・地域活動など）をサポートする施設です。

開館時間

午前9時～午後9時

休館日

毎月第4月曜日
(祝・休日の場合は翌火曜日) 及び
年末年始

施設の利用について

中区民・横浜市民の自主的な活動（市民活動・生涯学習・ボランティア活動・地域活動などの公益的な活動）にご利用いただけます。研修室や一部の設備の利用には団体登録が必要です。

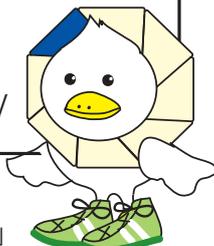
利用登録

研修室・ミーティングエリア・印刷室の予約、貸しロッカー・レターケース、貸出機材を利用する場合は利用登録が必要です。登録申請にはセンタースタッフとのヒアリングや審査があり、少々お時間をいただきます。



「ナカログ」はバックナンバーも含めて、なか区民活動センターのホームページでもご覧いただくことができます。

なか区民活動センター ホームページ
<http://www.city.yokohama.lg.jp/naka/ncac/>



なか区民活動センターマスコット「もなか」

みなとみらい線 日本大通り駅



「なか区民活動センター情報誌・ナカログ」編集・発行／なか区民活動センター編集室

問合せ／なか区民活動センター（中区地域振興課）TEL 045-224-8138 FAX 045-224-8343

〒231-0021 横浜市中区日本大通 34

E-mail : na-katsudou@city.yokohama.jp